

2023. 6. 1 発行

Little Tern Project

# こあじさし

koajisashi

NPO法人

リトルターン・プロジェクト通信

◆このプロジェクトは東京都下水道局と大田区の協力を得ています。

## Contents

- ◇ 2023年森ヶ崎、コアジサシ飛来状況 奴賀俊光/近隣、飛来、営巣状況 中村忠昌他・・・1、2
- ◇ 「営巣地の生き物たち」第16回「セアカゴケグモ」大塚豊・・・・・・2
- ◇ 何もわかっていない鳥のこと 第11回「カムリカイツブリ」蓮尾純子/春の整備作業報告・3
- ◇ 2023年LTPコアジサシ観察会のお知らせ/表紙の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

### 2023年 森ヶ崎コアジサシ飛来状況 調査研究部会 奴賀俊光

今年の森ヶ崎でのコアジサシの初認は4月16日でした。整備作業中に上空から3羽ほどの鳴き声を確認しましたが、姿を確認することはできませんでした。昨年は4月17日が初認でしたので、例年通りコアジサシは戻ってきてくれたと思います(表1)。その後、4月23日には6羽、29日のデコイ設置時には23羽が森ヶ崎の営巣地上空を飛翔する姿を確認しました(写真1)。まだ営巣地の上空の高いところを飛んでおり、営巣するにはもう少し時間がかかりそうですが、エサ(おそらく求愛給餌用)を持って飛翔する様子も確認できました。

コアジサシの営巣はまだですが、4月2日にシロチドリ1巣を確認し、29日には無事にヒナの姿を確認できました(写真2)。さらにもう1ペアのシロチドリが現在営巣中です(写真3)。

4/29現在

毎週の営巣調査の結果はLTPのブログ (<https://littletern.hatenablog.com/>) をご覧ください。

日付	個体数	備考
4月9日	0羽	
4月16日	約3羽	営巣地上空から鳴き声。
4月23日	6羽	営巣地上空を飛翔。
4月29日	23羽	営巣地上空を飛翔。エサ持ちあり。

表1. 2023年森ヶ崎屋上営巣地におけるコアジサシ飛来数



写真1



写真2



写真3

### 近隣、コアジサシ、チドリ類など、の飛来、営巣状況

葛西海浜公園の西なぎさではコアジサシの飛来に先駆けて、4月13日に保護区を設置しました。この時にシロチドリの営巣(2巣)を確認しました。コアジサシの初認は4月20日。西なぎさに5羽が飛来し、このうち1羽が保護区に降りました。その後、4月28日にも2羽が確認されました。

報告 中村忠昌 協力 吉田祐一(NPO法人生態教育センター) 木村成美(葛西海浜公園パートナーズ)

- その他の情報、西なぎさ 4月30日、コアジサシ40羽 松村雅行 確認



5月6日に西なぎさに降りたコアジサシ 撮影/中村忠昌



© Satoshi Aramaki



© Satoshi Aramaki



© Satoshi Aramaki

### 多摩川中流

多摩川中流の S 堰、K 堰ともにコアジサシの初認は 4 月 20 日、下流の S 堰を經由して 4Km 弱上流の K 堰へ来たと思われます。5 月 4 日昼には S 堰に 16 羽、K 堰に 8 羽いました。堰での求愛給餌と交尾、堰傍での狩りが観察できます。昨年かさ上げされた中州での繁殖を期待しています。

報告/撮影 荒牧 哲

写真左から・堰での狩り・求愛給餌・交尾



© Yutaka Otsuka

**三番瀬** 4 月 11 日初認 64 羽+。4 月 18 日 135 羽。4 月 23 日 200 羽。(アジサシ 22 羽+)。4 月 28 日 100 羽。この頃から各地に分散し始めたようです。渡り前の集結が三番瀬であることは広く知られるようになりましたが、実は入って来る時も三番瀬に先ず入り、そこから各地へ視察に行き、分散していくようです。

**千葉市検見川浜** 4 月 19 日、初認 2~3 羽上空飛翔。5 月 1 日、10 羽飛来。保護区内に初着地。シロチドリ孵化ヒナ 3 羽。報告 松村 雅行

### 大田区大森ふるさとの浜辺

4 月 21 日 9 時頃に、コアジサシ 10 羽の渡来を確認。あたりを飛び回ったり、杭やブイに止まったりしていました。短時間の滞在の後はどこかに飛び去ってしまいました。

報告/撮影 大塚 豊

## 営巣地の生き物たち 第 16 回 セアカゴケグモ (背赤後家蜘蛛)

文・写真 大塚 豊 (LTP 理事・日本野鳥の会東京 代表)



♀の成体と卵嚢



♀の亜成体



生息場所の煉瓦シェルター

クモ類が苦手な方には申し訳ありませんが、当コーナーに初の登場となります。セアカゴケグモはオーストラリアを原産地とする外来種で、日本では大阪で 1995 年最初に発見されました。数年ほど前には関東地方の各地で生息が確認され、報道でも大きく取り上げられました。現在はすでに東北地方北部を除きほぼ日本中に広く生息しています。

森ヶ崎営巣地でセアカゴケグモの生息が確認されたのは 2022 年 7 月のことです。コアジサシのための煉瓦シェルター内に、いつの間にかこのクモが多数生息していました。おそらく 2020 年~2021 年頃に、どこからか侵入し増殖していたものと推測されます。

セアカゴケグモは神経毒を持っていて、噛まれると激しい痛みや炎症を生じます。比較的穏やかな性格で攻撃性はないので、不用意に触らない限り噛まれることはありません。営巣地整備や営巣調査などでは、煉瓦やブロックに触れる際には注意する必要があります。コアジサシのヒナが、シェルター内でこのクモに噛まれないかが少し心配です。その一方、ハクセキレイやムクドリなどが、このクモを捕食している可能性もありそうです。

オーストラリアなどの越冬地と日本との間で渡りをするコアジサシが、セアカゴケグモを連れて来たのではとの噂もあるようです。しかしこれは全くの濡れ衣だと思われます。コアジサシの渡りは人間の出現より遥か前からで、もしコアジサシが運び屋ならば、このクモはずっと昔に日本に侵入していたはずで、近年の船舶や航空機による物資の運搬など、人間の活動がその原因であることは疑う余地がありません。



## 何もわかっていない鳥のこと 第11回「カンムリカイツブリ」 蓮尾 純子



### 急増したカンムリカイツブリ

5月と言えばもう初夏。日本では主に冬鳥のこの種を取り上げていいのか、と悩みました。それでも数年前から茨木県の北浦での繁殖が続いていると、大塚豊さんからお教えいただきました。しましまのヒナ、見てみたいなあ。

カンムリカイツブリはミヤコドリと並んで、東京湾で確実に急増した種類。私が鳥を見始めた1960年代には、カンムリカイツブリを見るには2, 30羽の群れが越冬している狭山湖に行かなくてはなりません。東京湾ではフェリーで沖合いに出ても、1, 2羽を見ればラッキー。春が近づくと、赤茶色の冠羽が伸びて、すらりとした白い首が際立っていた冬羽よりも遠目では地味に見えますが、至近距離で見れば美しさがよくわかります。求愛ダンスが見られればなおさら。

カンムリカイツブリの急激な増加がはじまったのは1980年代末。1985年11月に行われた「東京湾洋上大学」に参加し、借り切られたフェリーで内湾部を一巡した時には見かけた覚えがありません。1976年から毎日記録されている「観察舎から見られた鳥」によれば、行徳鳥獣保護区での初記録は1989年11月2日の1羽。1991年度の冬からは11月～3月まで少数が見られ、1994年以降は定着して越冬するようになりました。1990年代後半には三番瀬の沖合いで100羽をこす群れが見られ、1991年～1993年のどこかで、カンムリカイツブリの死体が数羽、野鳥病院に一度に持ち込まれたこともあります。21世紀に入ると1000羽以上の大群が船の接近で飛び立つことも稀ではなくなり、3月までだった滞在も4月末まで見られるようになりました。田久保晴孝さんの記録では、今年も(2023年1月17日)葛西で3500羽が見られたとのこと。いったいどうして？



カンムリカイツブリ 冬羽  
撮影 増田直也



カンムリカイツブリ 夏羽  
撮影 大塚恵子

### 謎の推測

1970年代には常態だった赤潮で醤油色に濁った海、洗剤の泡が立つ川。この時期、多摩川や江戸川、荒川、そして東京湾の水質改善にもなって、魚が増えたり、とりやすくなったのかもしれませんが。カワウやアオサギなどの魚を食べる大型の鳥たちも急増しています。しかし、カンムリカイツブリは冬鳥。繁殖地でも何らかの変化がなくては、1, 2羽しか見られなかったものが数百、数千になるとは考えにくいと思います。

ちょうどその頃、テレビで見た環境破壊の話題。日本のパルプ需要のため、沿海州(ソビエト連邦; 当時たしかソ連が解体しロシアとなる前だったと思う)のタイガで針葉樹が伐採され、地表が太陽にさらされて凍土層が融解し、小さな湖があちこちにできる、しかしこうした湖は水の供給がないために干上がり、乾燥した草原や裸地になる、という内容でした。その時にふと思い当たったこと。これらの小さな湖はカンムリカイツブリにとっては繁殖適地になるのではないかと。

真相は、「何もわかっていない」まま。それでもカンムリカイツブリは全国で増加し、滞在期間ものびているようです。理由を問う以前に、せめて実態を知らなくてはね。

### 2023年 春の営巣地整備作業

3月25日、26日に予定していた整備作業は雨天のため、2日とも中止となりました。

急ではありましたが4月2日、9日に一般参加のボランティアを募集して、作業を行いました。2日はボランティア、スタッフ合わせて20名、9日は19名の方に参加いただき、コアジサシが営巣する環境を整えるために営巣地の草抜きを行い、ひらけた空間をつくることができました。

4月29日には、かしわ環境ステーションさまに補修していただいたデコイと、リトルターン・プロジェクトが協力し、各種イベントで作成して寄付されたデコイと、昨年回収と清掃を行ったデコイ、総数824体のデコイを設置して、コアジサシを迎える準備が整いました。

春の森ヶ崎水再生センター屋上営巣地整備作業を無事に終えることが出来ましたこと、ご参加いただきましたすべての皆さまに感謝申し上げます。お疲れ様でした。

保護整備部会リーダー 橋本 直喜



作業レクチャー



デコイ設置作業

## 2023年 リトルターン・プロジェクト コアジサシ観察会について

2023年度の観察会は、下記の形で実施を予定しています。熱中症やコロナ感染症などに十分注意してご参加ください。

- 日時:第1回 6月25日(日)、第2回 7月1日(土)  
9時30分から12時までの指定する時間。受付時間は後日通知。観察は30分~1時間程度
- 場所:東京都下水道局森ヶ崎水再生センター東施設屋上営巣地(大田区昭和島2-5-1)  
東京モノレール「昭和島駅」東口 注:森ヶ崎バス停終点の西施設ではありません
- 観察方法:申込グループ毎にコアジサシの営巣場所に案内し、屋上内の観察場所を一方通行で回りながら営巣状況を観察します。感染防止のため双眼鏡等をお持ちの方はご持参ください。干潟には行きません。
- 定員:各日100名程度
- 参加費:100円(保険・資料代)
- 参加申込:事前に参加者全員の氏名、住所、電話番号、参加希望日、リトルターン・プロジェクトのブログを見ることのできるか、できないか、を記入し、apply@littletern.net にメールで申し込み。  
※中学生以下の方は保護者同伴でお申し込みください。  
※apply@littletern.netからのメールを受け取れるよう設定の変更をお願いいたします。
- 申込締切:第1回 6月12日(月)、第2回 6月19日(月)  
定員を超えた場合は締切前に受付を中止する場合があります。  
観察会当日の受付時間は締め切り後に個別にメールで通知します。
- 注意事項:  
※車でのお越しはご遠慮ください。  
※体温が37.5度を超える場合、咳や味覚障害などの症状がある場合は参加をご遠慮ください。



5月6日現在、観察場所の屋上営巣地ではコアジサシの成鳥は飛来していますが、営巣は確認できていません。営巣状況の詳細は、リトルターン・プロジェクトのブログでご確認ください。

<https://littletern.hatenablog.com/>



← 営巣地の最新情報はブログでご覧ください。

主催:NPO法人リトルターン・プロジェクト 共催:大田区  
協力:東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター、フィールドアシスタントネットワーク  
お問い合わせ先:大田区環境対策課 ☎03-5744-1365 (まとめ 新田正子 イラスト 岩本久則)

### 表紙の言葉

釣りマニアの岩本さん案内の㊦穴場に同行した。そこは地の果てを思わせる海辺の工場地帯。波止場のライトに夜の荒海を乱れ飛ぶウミネコが浮かび上がる。海に向かって竿を振るかと思いきや、いきなり足元の排水溝に釣り糸を垂れる。瞬時、勢いよくコンクリの上を赤い魚が跳ねた。「この人は釣りの天才」かと。しかし入れ食いはこの一匹だけ。その後3時間ほど粘ったが、釣果は小さなカサゴ3匹に終わったのである。



釣られたカサゴ

会員になって一緒にコアジサシを守りましょう!  
NPO法人リトルターン・プロジェクトでは、随時会員を募集しています。わたしたちと一緒に絶滅の恐れのある野鳥“コアジサシ”を守りませんか?  
◇入会届のダウンロード先◇  
<https://littletern.net>  
◇入会届の送付先◇  
〒143-0015 東京都大田区大森西5-10-22 増田方  
NPO法人リトルターン・プロジェクト宛  
または、右記の問い合わせ先へご連絡ください。

◇発行:NPO法人リトルターン・プロジェクト  
◇編集 増田 直也  
◇表紙画 岩本 久則  
☆問い合わせ先  
NPO 法人リトルターン・プロジェクト  
Tel : 090-1778-5917  
E-mail : info@littletern.net  
Website-URL <https://littletern.net>  
ブログ更新中 <https://littletern.hatenablog.com/>  
HPがリニューアルされました。ぜひご覧ください。



HPはこちらから